

特別インタビュー

子どものワクチン接種についての考え方



〈エールワクチンセンター〉
センター長 田村真麻
内科医師／医学博士
総合内科専門医
リウマチ専門医・指導医
アレルギー専門医

田村先生：はじめに、12歳以上の新型コロナワクチンは“接種を受けるよう努める”努力義務とされていますが、5～11歳に対するワクチンは全額公費で受けられるものの努力義務とはされていません。これは、子どもにおけるオミクロン株に対するワクチン効果に関してのデータが今の時点で十分でないことにあります。

接種にあたっては、保護者がメリットとデメリットをよく理解したうえで判断することが大切です。メリットとしては、発症予防効果（※注：オミクロン株出現前のデータ）と、重症化を防ぐことが期待できます。重症化する可能性のある基礎疾患を持つお子さんは接種することが推奨されています。デメリットとしては、局所の痛み、倦怠感、頭痛などの副反応があること。12歳以上の青年に比べると副反応の出る頻度は少なく、いずれも2～3日程度でおさまり、安全性に重大な問題はないと報告されています。また、長期的な副作用については、まだデータはありません。

田村先生：可能であれば、接種について話しておいた方がよいことはありますか？

田村先生：はじめて、12歳以上の新型コロナワクチンは“接種を受けるよう努める”努力義務とされていますが、5～11歳に対するワクチンは全額公費で受けられるものの努力義務とはされていません。これは、子どもにおけるオミクロン株に対するワクチン効果に関してのデータが今の時点で十分でないことにあります。

接種にあたっては、保護者がメリットとデメリットをよく理解したうえで判断することが大切です。メリットとしては、発症予防効果（※注：オミクロン株出現前のデータ）と、重症化を防ぐことが期待できます。重症化する可能性のある基礎疾患を持つお子さんは接種することが推奨されています。デメリットとしては、局所の痛み、倦怠感、頭痛などの副反応があること。12歳以上の青年に比べると副反応の出る頻度は少なく、いずれも2～3日程度でおさまり、安全性に重大な問題はないと報告されています。また、長期的な副作用については、まだデータはありません。

編集部（以下、編）：子どもに対するワクチン接種についてどのように考えればよいでしょうか。

田村先生：5～11歳が接種するワクチンはどのような特徴がありますか？

田村先生：5～11歳が接種するワクチンはどのよう分解されるものなので、原理的には問題ないと考えられます。

3月から接種対象が拡大され、5～11歳も新型コロナワクチンを受けられるようになりました。そこで、子どもに対するワクチン接種について、〈エールワクチンセンター〉の田村センター長と〈エールホームクリニック〉の小児科医師鈴木先生にお伺いしました。



〈エールホームクリニック〉
小児科医師 鈴木竜太郎
小児科専門医
腎臓専門医

載っている「5歳から11歳のお子さんと保護者に向けた接種についてのお知らせ」は、わかりやすい言葉で書かれているので、それを見ながらお話ししてもよいかかもしれません。

編：お子さんを持つまる」と読者へメッセージをお願いします。

田村先生：接種を希望する方も希望しない方も、どちらの意思も尊重されるべきで、周りの方に接種を強要したり、接種しない方に差別的な対応をしたりしないようにしましょう。

田村先生：我々でできることは、大人も子どもも接種を希望する方が、安心して受けられるような接種機会を数多く提供することだと考えています。当院では、すでに成績をあげて合計2回接種するものです。

田村先生：ワクチンを使用します。1回あたりの有効成分量は成人の1/3で、3週間の間隔をあけて合計2回接種するものです。1回目の接種時年齢が11歳だった場合、2回目接種時に12歳以上でも5～11歳用のワクチンで2回目の接種をします。他のワクチンとの同時接種はできず、他のワクチンとは前後2週間以上の間隔をあける必要があります。また、接種する場合には保護者の同意と立ち合いが必要です。接種当日は接種券に加えて、母子手帳を持参してください。

田村先生：大人同様、一部の薬品に含まれている成分にアレルギーがある方は注意が必要ですが、食品アレルギーや花粉症、喘息などはほとんどの場合、問題なく接種を受けることが可能です。

田村先生：5～11歳におけるワクチン接種についてのワクチン接種についてのメリット・デメリット



- 発熱や肩の痛み、頭痛など
- 一定の割合で副反応がある

デメリット

- 発症予防効果が約90%（※）
- 基礎疾患がある方の重症化を防ぐことが期待できる
- オミクロン株が出現する前のデータ

メリット

エールワクチンセンター 3/1火 OPEN

AILE VACCINE CENTER



エールワクチンセンター
センター長 田村真麻
内科医師／医学博士
総合内科専門医
リウマチ専門医・指導医
アレルギー専門医

2021年6月より始まった当院の新型コロナワクチン接種プロジェクトは、まだまだ進化を続けます。“より多くの人に、迅速に、安全に、効率的に、人々のニーズに沿ったワクチン接種を行う”を合言葉に、ゼロから運用法を練り改善を重ね、予約から当日の運用・救急対応まで全て自前の、医師によるワンストップの問診・接種を特徴とした“エールスタイル”を確立しました。このワクチン接種に特化した〈エールワクチンセンター〉でも、希望される長岡市民、新潟県民の皆様に安心して接種を受けていただけるよう、より万全の体制で臨みます。あとは、長岡市からのワクチン供給を待つばかりです。医師がすべて接種します。

予約
・問い合わせ

エールワクチンセンター

長岡市千秋2丁目278番地 リバーサイド千秋センター1階



職域接種について
コチラから▶

